

第六回

# 京都の 木の家 づくり 表彰作品集

— ぐあいさつ —

京都で育った木で家を作る。

住む人にとっても、地域の森にとっても、私たちを取り巻く環境にとっても心地よいことです。

京都府産木材利用推進協議会は、京都府が制定した京都府産木材認証制度に基づき、京都府産木材を供給する「取扱事業者」「認証機関登録事業者」及び京都府産木材を使って建築に取り組む「緑の事業者」で組織する団体です。

協議会では、京都府産木材の推進に関する様々な事業に取り組んでいますが、令和元年度から、京都府産として認証された木材を使って建築された建物の表彰事業を行っています。

第6回目となる今回は、「ひろがる京の木整備事業（建物型）」など、京都府の補助金の交付対象となった建物等を対象に、応募いただいた中から「木材利用」「建築技術」「京の木の文化」の面から厳正な審査を経て、優秀な建築を表彰することとなりました。

地域の森林で生産された木材を使って木造建築を進めることは、再生産可能な森林資源の循環利用に役立つとともに、地域の林業・木材産業が発展することにより、地域振興にもつながります。

さらに、近くの森林で育った木材を使うことは輸送に伴う二酸化炭素の排出量も少なく、地球温暖化を防ぐ役割も果たしていると言えます。

これからも京都府産木材の利用について、皆様の御理解と御協力をお願いします。

主催 京都府産木材利用推進協議会

共催 京都府

後援 一般社団法人京都府建築士会／京都府建築工業協同組合／京都府森林組合連合会／  
一般社団法人京都府木材組合連合会

## 目次

ごあいさつ		1
総評 審査委員長 高田光雄		3
最優秀賞・知事賞		
京都信用保証協会中丹支所（福知山市）	設計 京都 2111 （株式会社片岡英和建築研究室＋空間工房用舎行蔵） 施工 株式会社田中工務店	4
優秀賞		
京北の木材で大工の卯たちと造る 磨き丸太方杖のある木造倉庫（京都市右京区）	設計 高橋勝建築設計事務所一級建築士事務所 施工 東工務店一級建築士事務所 京都建築専門学校佐野春仁及び学生大工チーム	6
壺中庵（舞鶴市）	設計・施工 株式会社坂根工務店	8
審査委員特別賞		
木造温室（船井郡京丹波町）	設計・施工 トラスト建築設計	10
奨励賞		
無垢材と自然素材のみで造る猫と暮らす家 ～CO <sub>2</sub> 排出をなくし自然と共存する暮らし（京都市北区）	設計・施工 タクミ建設株式会社	11
ホテルステイなグループホーム ～ステイウィズ西院Ⅱ（京都市中京区）	設計 一級建築士事務所タクミ建設株式会社 施工 タクミ建設株式会社	12
ケアホーム クリエ（京都市伏見区）	設計 株式会社住建設計 施工 株式会社堀井建設	13
北福西町の家（京都市西京区）	設計 芝原一級建築士事務所 施工 株式会社竹内工務店	14
つながる二世帯住宅 シンプルモダンな二階建て（京都市西京区）	設計 古津真一建築設計事務所 施工 株式会社モアテック	15
つながる二世帯住宅 ホテルライクな平屋（京都市西京区）	設計 古津真一建築設計事務所 施工 株式会社モアテック	16
高気密高断熱・自然素材の家（舞鶴市）	設計・施工 株式会社林田工務店	17
由良ブランカ（宮津市）	設計 株式会社大村工務店一級建築士事務所 施工 株式会社大村工務店	18
Y様邸新築工事（久世郡久御山町）	設計 有限会社夢創建築事務所 施工 株式会社三原工務店	19
資料 第6回京都の木の家づくり作品募集チラシ		20

各賞の掲載順は作品所在地の総務省市区町村コード順で、順位とは関係ありません。（敬称略）

## —— 京都の木の家づくり表彰事業・総評 ——

京都府産木材を使用した京都にふさわしい家づくりの優良事例を表彰し、広く紹介することにより、環境にやさしい京都府産木材の利用促進を図ることを目的として、令和元年度より「京都の木の家づくり表彰事業」が実施されてきた。この事業は、「ひろがる京の木整備事業」など京都府の助成を受けて府内で建築された建物（リフォームを含む）を対象としたものであり、府内各地から多数の応募をいただいた。

木材関係、建築関係などの専門家7名による審査委員会では、木材利用、建築技術、京の木の文化（地域環境と生活文化）の3つの側面からなる審査基準に従って議論を進めた。木材関係の委員からは、府内産木材の使用量、使い方（適材適所）などについて、建築関係の委員からは、技術的合理性、建築デザインのオリジナリティ、地域生活文化への適合と環境への配慮の両立などについて、多様な意見が出された。これらを踏まえて慎重に審議を重ねた結果、本年度は、最優秀賞（京都府知事賞）として1点、優秀賞として2点、審査委員特別賞として1点、奨励賞として9点の作品が選定された。

最優秀賞に選定された作品は、福知山市の事務所建築で、RC造の既存建築物に木造で増改築したもので、木材使用の視点と共に総合的な環境配慮デザインの視点からも高く評価された。優秀賞に選定された一点目は、京都市右京区に建つ木造倉庫で、すぐれたデザインと共に若手の施工者とのコラボレーションによる木造建築物普及活動としても評価された。二点目は、舞鶴市に建つ新築住宅で、生活文化の継承を推進しようとする発注者の意図を的確に捉えたきめ細かな計画や意匠が高く評価された。審査委員特別賞に選定された作品は、木造の温室で、量産化には至っていないが、ビニールハウスの構造フレームを合法的に木質化する試みが評価された。奨励賞に選定された9点は、京都府産木材を活用して設計、施工された木造住宅や福祉施設、商業施設などであり、木材の使い方や設計上の工夫などがそれぞれ評価された。

今後、建築設計者と施工者がより強い連携をとり、京都府産木材を一層上手く使いこなし、極限的に深刻化している地球環境の保全に配慮しながら、京の木の文化を的確に継承発展させる優れた建築が府内全域に浸透していくことを期待したい。

審査委員長 高田光雄

### 審査委員

委員長 高田光雄（京都美術工芸大学副学長・京都大学名誉教授／一般社団法人京都府建築士会顧問）  
委員 木村忠紀（京都府建築工業協同組合相談役）  
西田教子（一般社団法人京都府建築士会副会長）  
橋本泰成（京都府農林水産部林業振興課参事）  
森井一彦（京都府森林組合連合会代表理事専務）  
森 敦司（一般社団法人京都府木材組合連合会専務理事）  
愛甲政利（京都府産木材利用推進協議会会長）



〈事務所／増改築〉

## 京都信用保証協会 中丹支所

撮影 Space Clip 岡田大次郎

京都府産材を 142.517 m<sup>3</sup> 使用し、鉄筋コンクリート造の既存建物同規模のボリュームを付加した木質化リノベーションを実施しました。

既存建物を再利用し、CLT パネルも再利用を前提とすることで、廃棄物の発生抑制に貢献し、LCCO<sub>2</sub>（ライフサイクル CO<sub>2</sub>）低減にも配慮した計画としています。

長年親しまれてきた建物を解体せず、地域産材の CLT パネルを用いて増改築、施設全体のプログラムを再構築し、地域との親和性を高めるとともに、地産地消による経済効果

の向上を図りました。

京都信用保証協会は、中小企業の経営支援を通じ、地域経済の活性化に貢献する公的機関です。地域産木材を活用し、経済効果を高めると共に、地域住民に親しまれる環境を維持し、地域との親和性を重視しています。この取組は、木質化でつなぐサステナブルな建築再生術のケーススタディとなります。

〔設計〕

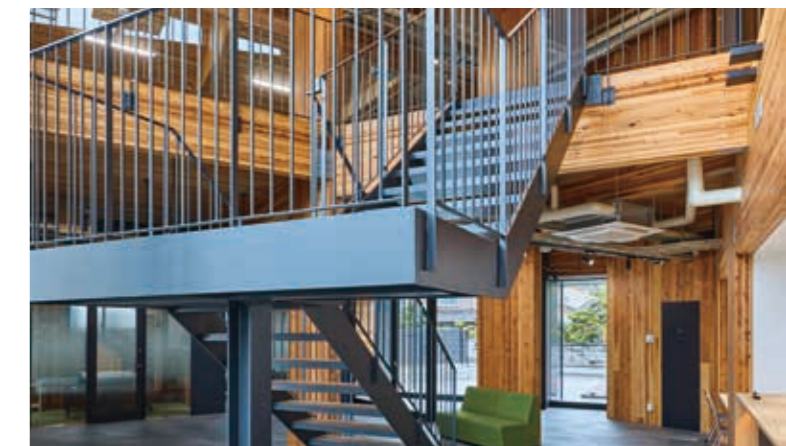
京都 2111

株式会社片岡英和建築研究室＋空間工房用舎行蔵  
京都府京都市中京区元本能寺町 382 MB ビル 3F

〔施工〕

株式会社田中工務店

京都府京都市南区上鳥羽八王神町 265 番地



福知山市

Fukuchiyama City

京都府産木材使用量  
142.5170m<sup>3</sup>



〈倉庫・車庫／新築〉

## 京北の木材で大工の卯たちと造る 磨き丸太方杖のある 木造倉庫

撮影 山田圭司郎

京北の林業施業のための資材倉庫と車庫です。地域の木材を介した山からまちへの価値と文化の循環の促進、京北の景観の修景、また将来京北の木材を使うであろう大工の卯たちへの意識と技術の継承も大きな目的としています。

地元の大工棟梁が請負、大工工事のサポートとして京都市内の建築専門学校大工チームが手刻みから建て方、造作工事を行いました。

材料は木材倉庫に長く残る材を有効利用しました。架構は多種寸法に対応でき、比較的簡易な加工で行える「挟み梁工法」を採用し

ています。

車庫や資材倉庫の入り口がある西側は大きな開口が並ぶため、雨除けの庇を長く出しました。この庇を支える方杖が間口に印象的に7本並びます。この方杖は強度、対候性も必要な重要部の為、京都のブランド杉の磨き丸太を採用しました。

この磨き丸太方杖のファサードが地域の景観として馴染み、地元を鼓舞し続けて、林業と大工をはじめ、山にかかわる人々を応援する存在となる事を期待しています。

[ 設計 ]

高橋勝建築設計事務所一級建築士事務所  
京都府京都市右京区西京極堤町 26-2

[ 施工 ]

東工務店 一級建築士事務所  
京都府京都市右京区京北辻町狭間ノ元 83

京都建築専門学校  
佐野春仁及び学生大工チーム  
京都府京都市上京区下立売通堀川東入ル東橋詰町 174



京都市右京区  
Ukyo Ward, Kyoto City

京都府産木材使用量  
41.5000m<sup>3</sup>



〈住宅／新築〉

こ ちゅうあん  
壺中庵



舞鶴市  
Maizuru City

京都府産木材使用量  
10.2126㎡

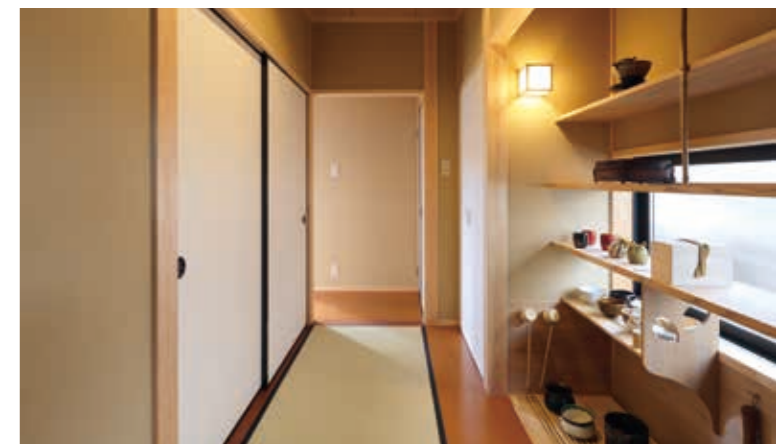
「茶道と香道の集まりの場として使える和風の住宅を」とのご要望から、利用目的の動線を重視しながら快適に住まえる和風住宅となりました。

府内産木材を中心とした材料の選定から墨付け・加工に至るまで木に精通した当社の大工が造り上げました。

最近では新築の和風住宅を見かけることが少なくなりました。当社でも和風建築を造る事が減少する中、設計者・監督・大工が共に木材と向き合い、その特性を知りながら木の素晴らしさを再認識し、知識と技術を継承していく為の貴重な機会となりました。

奇をてらう所のない伝統的なデザインですが、各所の調和のとれた木材の良さが統一感を生み、床柱や玄関の飾り棚横の柱の北山杉が上品に存在感を出しています。

新しいデザインや機能・価値観が次々と生まれている現在、耐震性や断熱性を備えた快適な居住性を持った上で、伝統的に培ってきた街並みや住文化が持続的に続いていくように見直す時が来ているのではないかと思います。この建物を通して、和風建築の良さをひとりでも多くの方に感じて頂けると幸いです。



審査委員特別賞



奨励賞



カメラマン 神崎まこと

〈温室／新築〉

木造温室

〔船井郡京丹波町〕

京都府産木材使用量  
7.0656 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

トラスト建築設計  
京都府船井郡京丹波町塩田谷 49-6

農業法人丹波農園（株）は、京のブランド製品のひとつ、「丹波くり」の栽培を行っています。

「丹波くり」生産と地球温暖化を見据え、新たにマンゴー栽培に取り組むに当たり、令和3年に地域木材を利用して建設された京丹波町役場庁舎に共感を覚え、これからの木材の可能性と未来に向けたSDGsの取組を念頭に、今日では大半が金属製の農業用ビニールハウスについて、木造で温室を建設することとしました。

建築技術としては、トラス構造による大断面により温室スペースの確保に努めると共に、雪害等にも配慮出来ることを目指しました。

今後の農業分野等への新たな木材利用として提案が出来たら、と思う次第です。

〈住宅／リフォーム〉

無垢材と自然素材のみで造る猫と暮らす家

～CO<sub>2</sub>排出をなくし自然と共存する暮らし  
〔京都市北区〕

京都府産木材使用量  
22.4000 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

タクミ建設株式会社  
京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町 18 番地 4

追加木造は全て府産材のみを採用した、フルリノベの物件です。基礎もない建築不詳物件のため、構造計算を行い耐震補強工事も行いました。

お施主様のご希望で、木質断熱材＋羊毛断熱材＋屋根上断熱に、窓はクリプトンガスを採用した「断熱等級7」相当の家です。外気温0度の日でも、室内温度は暖房なしで家中17度キープ、という素晴らしい仕様です。更に、昔の家のように野地板や垂木を眺めて暮らしたいという要望に最大限沿うよう、300mmの断熱層の下に、野地板＋垂木を化粧として施工し仕上げています。

外部の門扉も窓格子も、外構の平垣もベランダ造作も、更に鉢植えやウッド

デッキに至るまで全てを木材又は府産材で作成していますので、京都の木の文化の真髄に最も近い建物だと思います。

「建築中も建築後も、ほぼCO<sub>2</sub>を排出しない。無垢材と自然素材のみで造ってほしい。ガスは一切使わない。エアコンも床暖も、電気温水パネルを活用したヒートポンプ式でCO<sub>2</sub>が最も出ないタイプ。自然破壊しない終活を猫と共にすごしていきたい。」というお施主様の切なる願いに寄り添った建築をとことん行いました。京都府産材の活用は更なるCO<sub>2</sub>削減になることから、この提案にも大変満足頂き、竣工後の現在も満足された生活を送っております。

奨励賞



奨励賞



カメラマン 神崎まこと



PHOTO マツキヒロシ (Solid Design Lab)

〈グループホーム／新築〉

## ホテルステイな グループホーム

～ステイウィズ西院II

〔京都市中京区〕

京都府産木材使用量  
24.3800 m<sup>3</sup>

〔設計〕

一級建築士事務所  
タクミ建設株式会社

京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町18  
番地4

〔施工〕

タクミ建設株式会社

京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野町18  
番地4

変形3階建てのため、構造計算上可能な範囲で、併せて意匠として耐力壁CLTを化粧材として採用し、また、外部アプローチにスギ化粧材を採用しました。

狭小敷地を最大限有効に活用する為に、変形L型木造3階建てになっています。その為、通常の在来木造3階建てより、構造計算を含めた木造建築の難易度がかなり高く、他ではまず鉄骨でしかプランされない建物を、あえて木造建築で提案し、更には京都府産材を活用しつつCLTも一部採用できた素晴らしい建物です。

CLTは構造計算上、1～2階部分での採用ですが、化粧仕上げとしてグルー

プホーム居室内のアクセント壁として活用している部分が更なる魅力の一つだと考えています。

今までは変形狭小の3階建てといえは鉄骨があたり前でしたが、あえて手間を加え木造建築でチャレンジしました。

京都の木を活用したい、CLTを活用したい、更に「グループホーム」と言えば一般的に物静かな地味な部屋という印象ですが、「高級ホテルに泊まっている気分になって頂きたい。」というオーナー様のご希望にとっても寄り添った建物の実現に竣工後も喜んで頂いています。

〈知的障がい者グループホーム／新築〉

## ケアホーム クリエ

〔京都市伏見区〕

京都府産木材使用量  
2.8395 m<sup>3</sup>

〔設計〕

株式会社住建設計

京都府京都市下京区東塩小路町579-1

〔施工〕

株式会社堀井建設

京都府城陽市平川横道38-1

知的障がいを抱えた5人の入居者が生活をするためのグループホームの計画です。

〈なんとなく別々なんだけど、なんとなく一緒にいる〉を住まい方のコンセプトとして、5つの家を集めるのではなく、入居者5人それぞれの個性を踏まえて生活・行動まで分解し、個室の大きさや水廻り・キッチンの位置と数、入居者同士やスタッフとの距離感など丁寧に調整しながら、5人が暮らすための3棟として計画しました。

外観は9枚の屋根と3種類の仕上げを使い分けた外壁で構成し、大きな1棟ではなく小さな部屋の集合体を感じ

られるデザインとすることで、周辺の住宅に対する圧迫感を軽減するとともに、多様な個性を持つ入居者が寄り添って暮らすという法人の想いが表出した象徴的な佇まいとなりました。

建物の室内外に京都府産木材を活用して、「施設」ではなく「集まって暮らす家」を目指しました。外部は外壁の杉板張りや柱梁・軒裏の構造材をあらわとし、内部は仕上げや建具・家具などに木材を利用することで、優しく温もりのある空間を実現しました。



奨励賞



奨励賞



撮影 Space Clip 岡田次郎

〔住宅／新築〕

## 北福西町の家

〔京都市西京区〕

京都府産木材使用量  
15.1589 m<sup>3</sup>

〔設計〕

芝原一級建築士事務所  
京都府京都市西京区大枝北福西町2丁目9番5

〔施工〕

株式会社竹内工務店  
京都府京都市右京区嵯峨釈迦堂門前瀬戸川町4-7

施主様の奥様が設計された趣味も楽しむ事が出来る終の棲家を京都府産のスギ・ヒノキを使って建てました。

バリアフリーに配慮して耐震等級3で長期優良認定住宅です。2階に茶室を設け、近くの桜を楽しみながらお茶会ができる間取りとなっています。

また、リビングも公園からの借景を取り込む配置とし、四季折々の景色が楽しめる工夫がされています。なるべく木が見える空間にされたいという事で、真壁の空間を設け柱・梁を現しに、また室内のシンボルとなる化粧柱は北山丸太を使用しています。

省エネのみに配慮するだけでなく趣味の家庭菜園や散水に使用できる様に雨水タンクを設けたり、以前のお住まいでご使用されていた建具を再利用されたり、また輸送の際の二酸化炭素の排出をおさえるため可能な限り京都府産材を使い、そして部材のロスがなるべく出ない架構になるように建物の高さ、空間の取り方にも工夫されるなど、色々な配慮をされたお住まいとなりました。



〔住宅／新築〕

## つながる二世帯住宅 シンプルモダンな二階建て

〔京都市西京区〕

京都府産木材使用量  
16.2800 m<sup>3</sup>

〔設計〕

古津真一建築設計事務所  
京都府京都市中京区室町御池下る円福寺町350-1 プリリアンスITO 1F

〔施工〕

株式会社モアテック  
京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町2-1

つながる二世帯住宅は、お母さまの平屋と息子さんご家族の2階建てで構成されています。2.2mの塀に囲まれた中庭にあるウッドデッキで互いの家を行き来できるので、プライバシーを守りつつ、互いの存在を感じながらもストレスなく生活できます。

内装はウォールナットを基調とした高級感がある落ち着いた雰囲気。玄関横や2階廊下には木の格子を配置し、洗面所やリビング天井にも木目を採用するなど、木の美しさを存分に生かしたデザインに仕上げられています。

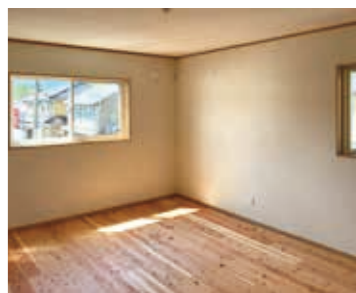
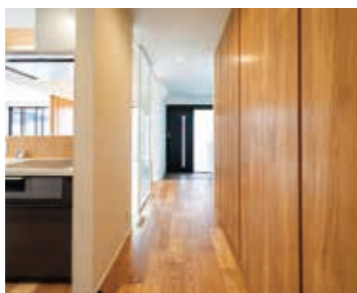
弊社では全ての木造住宅において構造用木材に京都府産木材を使用しています。弊社ホームページのコンセプトにも、地産地消により環境に配慮する事、地域産木材を使用しその土地や気候に適した家づくりをする事を記載しています。

和紙壁紙や漆喰などの自然素材を積極的に使用し、住む人々が長きに渡り健やかに過ごせる家を、京都になじむ和モダンデザインで作り続けています。

奨励賞



奨励賞



〈住宅／新築〉

## つながる二世帯住宅 ホテルライクな平屋

〔京都市西京区〕

京都府産木材使用量  
10.3680 m<sup>3</sup>

〔設計〕

古津真一建築設計事務所  
京都府京都市中京区室町御池下る円福寺町  
350-1 プリリアンスITO 1F

〔施工〕

株式会社モアテック  
京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町 2-1

つながる二世帯住宅は、お母さまの平屋と息子さんご家族の2階建てで構成されています。塀に囲まれた中庭にあるウッドデッキで互いの家を行き来できるので、プライバシーを守りつつ、互いの存在を感じながらもストレスなく生活できます。

内装は淡色の木を基調とした爽やかで優しい雰囲気。リビング天井にはフローリング材を使用。木目天井の美しさを損なわないよう、照明にはソリッドデザインを採用しました。収納も多めに設置し、フルハイドアのクローゼットは高級感もあり大変喜ばれました。

弊社では全ての木造住宅において構造用木材に京都府産木材を使用しています。弊社ホームページのコンセプトにも、地産地消により環境に配慮する事、地域産木材を使用しその土地や気候に適した家づくりをする事を記載しています。

和紙壁紙や漆喰などの自然素材を積極的に使用し、住む人々が長きに渡り健やかに過ごせる家を、京都になじむ和モダンデザインで造り続けています。

〈住宅／新築〉

## 高気密高断熱・ 自然素材の家

〔舞鶴市〕

京都府産木材使用量  
17.2018 m<sup>3</sup>

〔設計・施工〕

株式会社林田工務店  
京都府舞鶴市字倉谷小字北ノ坪 1743

構造材と内装材に京都府内産のヒノキ・スギを使用しました。寒くなく、自然素材を使った家に住みたいという施主様のご要望で高気密高断熱仕様とし、水廻り以外は京都府内産のヒノキとスギのフローリングを張りました。LDKは壁・天井を漆喰塗りとし、梁を半現しとしました。

また、LDKと隣接するピアノ室は天

井までの高さの間仕切り3枚引戸で仕切られており、引戸を開ければ一体の広い空間として使用できます。LDKとピアノ室は南面しており、樹脂サッシ・トリプルガラスのハイサッシを使用することで明るさを確保しながら断熱性も高く、家族が集まる快適なスペースとなっています。

奨励賞



奨励賞



撮影 坂本恵司

〔商業施設／新築〕

## 由良ブランカ

〔宮津市〕

京都府産木材使用量  
21.8877 m<sup>3</sup>

〔設計〕

株式会社大村工務店  
一級建築士事務所  
京都府宮津市宇宮村 1123 番地

〔施工〕

株式会社大村工務店  
京都府宮津市宇宮村 1123 番地

「海の京都と呼ばれる宮津の端っこ」…

日本海にそそぐ由良川にたたずむ“泊まるレストラン”として建築されました。地の食材をメインにシェフが完全貸切の空間と食事でもてなすために、木材の地産地消にもこだわり、京都府内産木材を使用しました。

宮津湾河口に近い悠々と流れる由良川を眺め、ゆったりとゴロゴロ過ごす…。どこからでも川の流れと自然を感じることができるよう、田園と里山に溶けこみ、存在を目立たせない建物デザインとしました。

背景の由良ヶ岳の山なみと、田と川面が織りなす景色を五感で感じられるよう、スギ板の外壁で建物を覆い、周辺環境と調和するよう屋根の彩度にも配慮しました。

夕日とともに夕ごはん、朝日とともに朝ごはん。あたりまえの大事なことを思い出せる“泊まるレストラン”です。

〔住宅／新築〕

## Y様邸新築工事

〔久世郡久御山町〕

京都府産木材使用量  
8.6411 m<sup>3</sup>

〔設計〕

有限会社夢創建築事務所  
京都府京都市山科区上花山久保町 57

〔施工〕

株式会社三原工務店  
京都府京都市伏見区深草新門丈町 164-1

ハイブリッドソーラーハウスに建て替えました。太陽の恵みで暮らすスギ・ヒノキの家です。

以前の家は「冬場は寒く夏場は暑い」とお施主様。新居は高断熱で「冬は暖かく夏は涼しい」と大喜び。光熱費も同月比較で5万円から1.2万円に大幅ダウン。

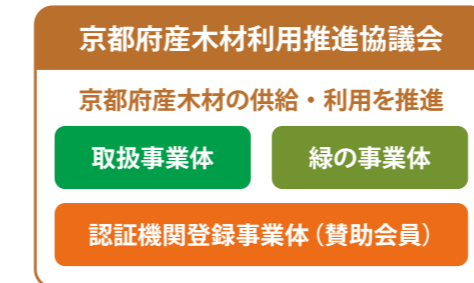
京都府内産木材を使用、良い香りにお施主様も大満足。ヒノキの殺菌・防虫、スギの防菌効果、室内塗装は植物性塗料を使用、調湿作用のある左官仕上げ漆喰など、健康に配慮しました。

太陽熱利用の床暖房・給湯ハイブリッドソーラーシステムを導入。夏場は太陽熱で給湯、寒い季節は玄関・キッチン・LDK、和室、洗面、トイレにも床暖房で、ヒートショック対策も万全。真冬の寒い季節も家中の温度差が無く快適だとの言葉も。人生の大半は屋内で過ごす事が多く、室内の空気環境・質を高めることができました。

自然由来の木材・漆喰・塗料、太陽熱を利用したエコな三原工務店の家です。体感できるモデルハウスがあります。ご来場お待ちしております。

## 京都府産木材利用推進協議会について

京都府産木材利用推進協議会は、素材生産から加工・流通・建築に至る京都府内外の約500社で構成する団体で、京都府と連携し、京都府産木材の供給や利用推進に取り組んでいます。



認証制度マーク

京都府内で合法的に生産された木材であることや、その木材を輸送する時に排出される二酸化炭素量（ウッドマイレージCO<sub>2</sub>）を証明することができる制度のマークです。地元で育てた木材を使うことで、輸送にかかるエネルギーを大きく削減し、地球温暖化防止に貢献します。また、地元の林業を応援し、豊かな森を育てることにもつながります。



協議会概念図

設 立	平成27年6月2日						
設置根拠	京都府産木材認証制度実施要綱（平成16年 京都府農林水産部長通知）						
設立趣旨	認証制度の円滑な運営を図ることで、地球温暖化防止型社会の実現に寄与するとともに、京都府産木材の利用及び販売を促進することを目的とする						
構 成 員	約500社 <ul style="list-style-type: none"> <li>取扱事業者（素材生産、流通、加工等）【知事認定／府内事業者】</li> <li>緑の事業者（工務店、設計事務所）【知事登録】</li> <li>認証機関登録事業者（素材生産、流通、加工等）【木連認定／府外事業者】</li> </ul>						
主な活動 (令和6年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年次総会・記念講演</li> <li>京都の木の家づくり表彰事業</li> <li>加工工場、木造施設等の見学会</li> <li>認証制度・支援施策説明会</li> <li>府内産利用推進セミナー（研修会等）</li> <li>普及啓発資材の作成・配布 等</li> </ul>						
ホ ー ム ペ ー ジ	<table border="0"> <tr> <td>京都の木検索ナビ (取扱事業者、認証機関登録事業者)</td> <td>京都の木の家づくり (緑の事業者)</td> <td>京都府産木材認証制度と証明手続き (木連 HP)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	京都の木検索ナビ (取扱事業者、認証機関登録事業者)	京都の木の家づくり (緑の事業者)	京都府産木材認証制度と証明手続き (木連 HP)			
京都の木検索ナビ (取扱事業者、認証機関登録事業者)	京都の木の家づくり (緑の事業者)	京都府産木材認証制度と証明手続き (木連 HP)					
事 務 局	一般社団法人京都府木材組合連合会 〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41-3 TEL:075-802-2991 FAX:075-811-2593 URL: https://www.kyomokuren.or.jp/ E-mail: info@kyomokuren.or.jp						

第五回（令和5年度）最優秀賞（京都府知事賞）  
「ウラヤナギの家」（京都市右京区）  
京都府産木材使用量 37.7500㎡  
設計 トヨタヤシ建築設計事務所  
施工 株式会社竹内工務店  
写真 岡田大次郎

第六回

# 京都の木の家づくり作品募集

**■入賞作品**  
最優秀賞・京都府知事賞（賞金10万円）1点以内／優秀賞（賞金3万円）2点程度／奨励賞10点程度  
表彰は施主、設計者、施工者の三者を対象

**■募集対象**  
京都府産木材（ウッドマイレージCO<sub>2</sub>京都の木認証材または京都の木証明材）を使用して建築された住宅等で、「緑の木のまち拡大事業」や「ひろがる京の木整備事業（建物型）」などの対象建築、リフォーム

**■応募先・お問合せ先**  
京都府産木材利用推進協議会  
(事務局：一般社団法人京都府木材組合連合会)  
〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町41-3  
TEL: 075-802-2991 FAX: 075-811-2593  
URL: https://www.kyomokuren.or.jp/  
E-mail: info@kyomokuren.or.jp

主催：京都府産木材利用推進協議会  
共催(申請中)：京都府  
後援(申請中)：(一社)京都府建築士会  
京都府建築工業協同組合  
京都府森林組合連合会  
(一社)京都府木材組合連合会

**■応募規定**  
下記の書類等を令和6年11月末日までに事務局へ提出してください。  
1) 応募調書(京都府木材組合連合会ホームページからダウンロードできます。)  
2) 施設等の図面  
付近見取図(縮尺1/2,500程度)、配置図、各階平面図、4面立面図、断面図(1面以上)をA3サイズで作成  
3) 写真及び画像データ(350dpi以上推奨)  
(遠景1枚以上、外観2枚(2方向)以上、室内2枚以上、軸組1枚以上)

**※注意事項**  
提出された書類等については、コンクール目的のみに使用しますが、写真については、京都府産木材利用推進協議会及び京都府が京都府産木材の利用推進を目的に使用することがあります。

※ 応募の詳細は木連ホームページをご覧ください。  
https://www.kyomokuren.or.jp/blog/news/6awards

【注意】令和6年度の募集は終了しています

この冊子は京都府補助事業「令和6年度ひろがる京の木整備事業」（京都府豊かな森を育てる府民税活用事業）により京都府産木材利用の普及啓発を図る目的で作成しました。

不許複製・禁無断転載

[ 編集発行 ]

京都府産木材利用推進協議会

(事務局：(一社) 京都府木材組合連合会)

令和7年2月発行

